

エコアクション21

環境経営レポート



発行日 2024年 9月30日

(レポート対象期間: 2023.8.1～2024.7.31)

片桐精工株式会社

目次

1. 環境経営方針	P 1
2. 組織の概要	P 2
3. 実施体制図	P 3
4. 環境経営システム実施体制(責任及び権限)	P 4
5. 環境経営目標と実績	P 5
6. 環境活動の取組結果とその評価	P 6
7. 次年度の環境経営目標と取組	P 7
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P 8
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P 8

1. 環境経営方針

環境経営方針

当社は、事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識し、より良い金属機械加工部品を提供することを心がけ、環境経営の継続的な改善を行いながら、持続可能な社会の実現を目指して以下の環境保全活動を行います。

1. 二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・水使用量の削減に取り組めます。



2. 不良品の排出削減に取り組み、環境負荷の低い製品づくりを目指します。



3. 環境の法規制および当社が同意するその他の要求事項を遵守します。



2024年 1月 10日改訂

片桐精工株式会社

代表取締役社長 片桐 仁

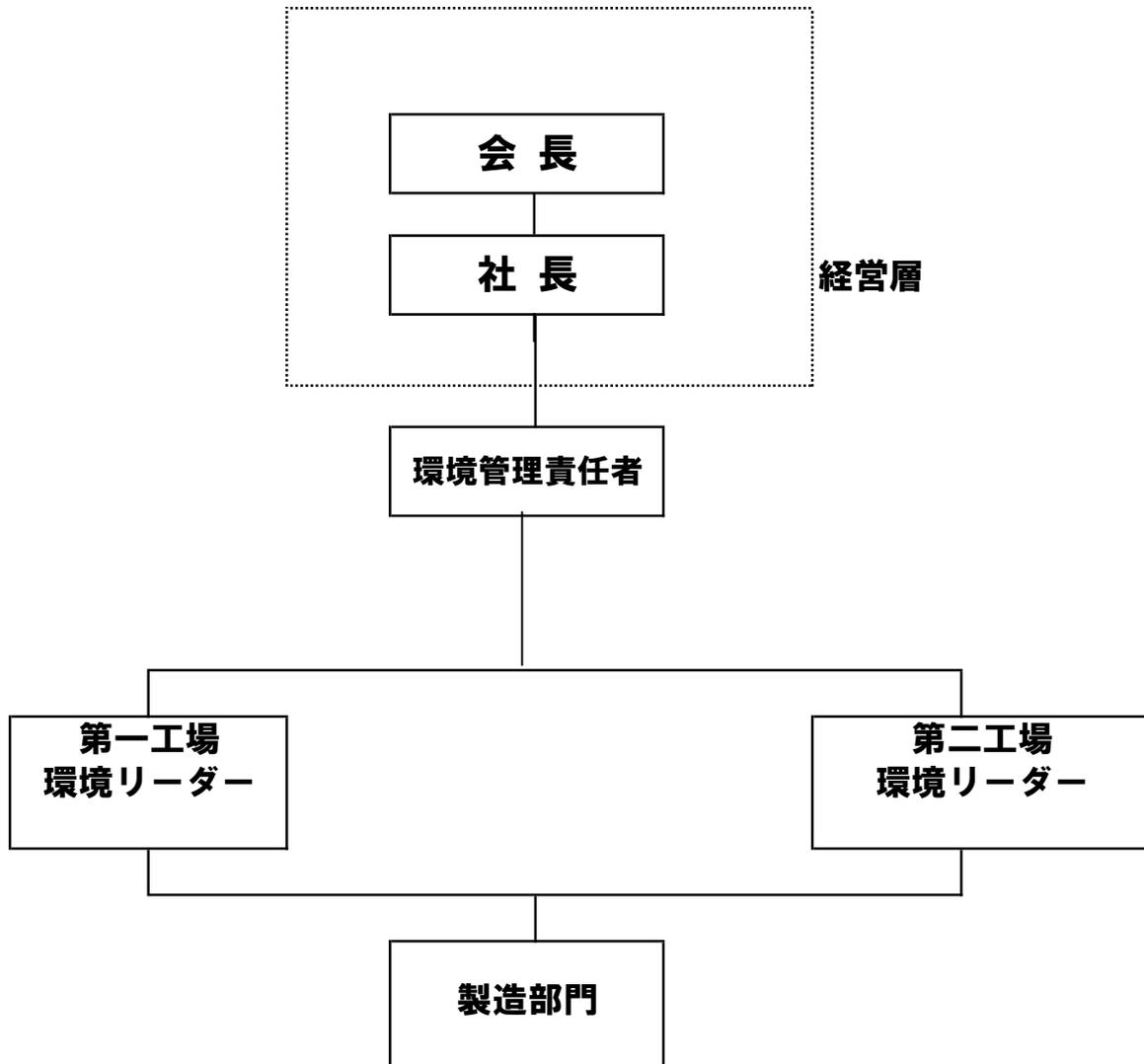
版-09

2. 組織の概要

事業所名	片桐精工株式会社
代表者名	代表取締役社長片桐 仁
所在地	〒990-2172 山形県山形市大字千手堂字井森塚570-3
環境管理責任者	片桐 香果
連絡先	電話 023-684-8120 FAX 023-684-7044
事業内容	機械加工・修理、治工具製作、専用機製作 ・油圧機器部品ーポンプ本体、ポンプカバーなどの加工 ・エレベータ部品 ・オートバイ用オーダーメイド部品製作 ・ブローチ加工、歯切加工、研削加工、摩擦圧接、ホーニング その他鋳物・ダクタイル鋳鉄・アルミ鋳物の手配から加工まで対応可能です。 マシニングセンター・NC旋盤・摩擦圧接・歯切り・研磨・ブローチ加工など、一貫した社内生産により短納期生産に対応しております。
事業規模	資本金 1000万円 従業員 12 人 延床面積 1352.55 m ²
認証・登録範囲	金属機械加工・全組織

3. 実施体制図

片桐精工(株)環境経営システム実施体制図



4. 環境経営システム実施体制

	責 任 及 び 権 限
経営層	<ul style="list-style-type: none"> ・環境への取組みを実施するための必要な人員 設備・費用等の準備
社 長	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者による全体の評価と見直し ・環境経営方針の誓約と見直し ・環境管理責任者の任命 ・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境への負荷の自己チェック ・環境への取組の自己チェック ・環境関連法規等の取りまとめ ・環境関連法規の順守状況チェック ・環境経営目標及び環境経営計画の策定 ・環境経営活動計画兼実績管理表の策定・管理 ・環境教育・訓練の計画、実施 ・環境経営レポート作成 ・外部からの環境に関する苦情、要望受付 ・社内環境コミュニケーションの実施 ・環境目標の日常チェック・推進(事務所内) ・環境経営システムの構築・運用 ・環境経営レポートの公表 ・実施体制の構築 ・環境上の緊急事態の想定
第一工場リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・環境目標の日常チェック・推進(全般) ・事故及び緊急事態対応テスト
第二工場リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・環境目標の日常チェック・推進(全般) ・事故及び緊急事態対応テスト
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標(廃棄物の分別・5S)の推進

5. 環境経営目標と実績

環境経営目標項目	中期目標 2021年～2023年 (基準値)	2023年度 目標	2023年度 実績	2020年度 実績	2019年度 実績
			達成 %		
二酸化炭素排出量の削減	56,000 kg-Co2	56,000	53,673 104%	55,393 (排出係数0.539) 基準値:48,475(排出係数0.429)	63,505
電気使用量の削減	113,000 kWh	113,000	106,015 107%	91,510 基準値:98、848kWh	106,186
参考:電気原単価			9.41	9.83	9.04
燃料使用量の削減	2,400 L	2,400	2,040 122%	2,309 基準値:2,359L	2,410
廃油量の削減	1,600 L	1,600	1,550 103%	800 基準値:700L	600
可燃物排出量の削減	220 kg	220→ 320 (2/22見直し)	330 97%	180 基準値:225kg	270
廃プラ排出量の削減	100 kg	100→ 300 (2/22見直し)	310 97%	60 基準値:105kg	150
水使用量の削減	170 m ³	170	165 103%	165 基準値:172m ³	179
不適合品の削減	年 42 件	年42件 (2/20見直し)	52件 81%	26 基準値:24件	22

※購入電力のCo2排出係数は、東北電力 0.457kg/kWhを用いた。

※受注増加と機械の入替え、工場内の整理、増員等で排出量の増加が見込まれる可燃物排出量と廃プラスチック量の削減目標を見直した。(2024年2月22日)よって、2023年度目標値は中期目標値より大きくなっている。

※基準値は、2019年度と2020年度実績値の平均値を基本とし、年度の受注見通しを勘案して設定した。

- ・その他の取組として、下記の4項目に取組む。(目標値は設定しない)
 - ・環境に配慮した物を購入する。
 - ・封筒、紙類、文具は再利用し、ペーパーレス化を推進する。
 - ・ペットボトルキャップの回収をする。
 - ・簡易包装での納品をお願いする。

6. 環境活動の取組結果とその評価

取組項目	結果	評価
二酸化炭素排出量の削減	104% 達成	・生産量増加の為、未達成となった。 削減の取組はしっかり出来たと評価する。
電気使用量の削減	107% 達成	・生産量増加の為、未達成となった。 削減の取組は、しっかり出来たと評価する。
燃料使用量の削減	122% 達成	・アイドリングストップ・エコ運転等に取り組み、目標を達成した。
廃油量の削減	103% 達成	・今期、新旧機械の入替え、切削油交換時期等で廃油排出量が増加しましたが、排出量の確認を徹底して目標を達成した。
可燃物排出量の削減	97% 未達成	・工場内、事務所内の整理を行った事で排出量が増加し、未達成となりました。
廃プラ排出量の削減	97% 未達成	・工場内、事務所内の整理を行った事で排出量が増加し、未達成となりました。
水使用量の削減	103% 達成	・節水活動により、目標を達成した。 来期もしっかり削減活動に取り組む。
不適合品の削減	81% 未達成	・うっかりミス、確認ミス等が多く、朝礼・全体会議、ミス発生後に再発防止の話し合いを徹底して削減に努める。
その他の取組結果	・文具・緩衝材などエコな物を選定して購入した。	○
	・紙類の再利用、文具品の再利用にて購入費が減少した。	○
	・ほとんど簡易包装での納品となった。	○
	・ペットボトルキャップ回収数 769個でした。	○

7. 次年度の環境経営目標と取組

取組項目	中期環境経営目標 (2024年～2026年)	2024年目標	取組内容
二酸化炭素排出量の削減	56,000 kg-Co2 (基準値: 56, 068)	56,000 kg-Co2	
電気使用量の削減	110, 000kWh (基準値: 109735)	110,000 kWh	・無駄のない機械稼働の徹底 ・消灯の徹底・室内温度管理の徹底
燃料使用量の削減	2,200 L (基準値: 2, 194)	2,200 L	・アイドリングストップ・エコ運転の徹底 ・排出量の確認
廃油量の削減	1,200 L (基準値: 1,135)	1,200 L	・交換サイクルの長い切削油の選定 ・排出量の確認
可燃物排出量の削減	230 kg (基準値: 235)	230 kg	・分別の徹底・リサイクルの徹底 ・排出量の確認
廃プラ排出量の削減	180 kg (基準値: 177)	180 kg	・分別の徹底・リサイクルの徹底 ・排出量の確認
水使用量の削減	165 m ³ (基準値: 164)	165 m ³	・節水の徹底 ・トイレハブの徹底
不適合品の削減	年 48 件 (基準値: 42)	年 48 件	・加工工程の確認・指差し確認の徹底 ・報連相の徹底・教育

※基準値は、売上高がほぼ同じ、2023年度と2021年度実績の平均値とした。

※購入電力のCo2排出係数は、東北電力株0.460を用いた。(R5-12-22公表)

※年度目標は、基準値を基本として、年度受注量予測、機械のオイル交換時期、3名増員等により増減を行い、それにあわせて中期目標値を設定した。

- ・その他の取組として、下記の4項目に取組む。(目標値は設定しない)
 - ・環境に配慮した物を購入する。
 - ・封筒、紙類、文具は再利用し、ペーパーレス化を推進する。
 - ・納入業者へ納入品の簡易包装、段ボール・ラップの回収をお願いする。
 - ・ペットボトルキャップの回収をする。

8. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

環境関連の法的規制については、「環境関連法規等の遵守状況のチェックと結果」に基づき実施した結果、違反はありませんでした。また、関係当局からの違反等の指摘や外部からの苦情や訴訟もありませんでした。

2024年8月22日確認

主な適用法規	規制内容	遵守
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正処理・マニフェストの交付と管理	○
フロン排出抑制法	対象機器の点検・機器の破棄時の証明書保存	○
消防法	指定数量の遵守・消火器の耐圧性能点検	○

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

- ・ 前期、過去最高の売上高をあげ、生産活動も増加の方向に向かうかと思われましたが、今期の売上高は、前期比-16%となりました。
今期、、仕事量が減少した中での削減活動の取組は、ほぼ全項目目標を達成する事ができました。生産量減少による目標達成ではあるものの、従業員一人一人が環境負荷の意識を持って環境経営システムに取組んだ結果と考えます。
来期も効率の良い生産活動ができるよう、工場内の整理整頓を徹底し、経費削減、環境負荷の低減に努め、持続可能な社会へ貢献出来るよう削減活動に取り組んで下さい。